

イエスはまなり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 181号

「イエスは主である」

(Iコリント 12:3)

清水 潔



このたび日本クリスチャンアシュラム 60周年記念大会が9月21日～23日御殿場東山荘で開催されました。

特に今回は米国よりジョーンズ博士の孫娘アン・マーシュズ博士を迎えてすばらしいメッセージを賜りました。また、国内より榎本保郎牧師のご子息でアシュラムセンターの榎本恵牧師による貴重なメッセージを頂きました。お二人共、祖父の代から、或いはご尊父の偉大なお働きを継承されてのご活躍で大きな感動と喜びを覚える事が出来、記念すべき大会となりました事を感謝いたします。

さて、会場正面には、いつものように「イエスは主である」との垂幕が掲げられ、集会毎に三本指を指し出して、三度くり返して唱えられ、次に司会者が「イエスはよみがえられた」と言い、会衆はこれに応じて「イエスは実によみがえられた」とこれも三度唱えられていました。

この最も短い信仰の告白は異教徒が偶像の前で「イエスはのろわれよ」と叫び、ユダヤ教のシナゴグでも言われていたそうです。それは十字架がのろいの木といわれていたからです。さらに後年になりますと、歴代のローマ皇帝が自らを「主」(キュリオス)と称して皇帝礼拝を強制しました。しかしクリスチャンはこれを拒否して「イエスは主である」と告白して殉教したのでした。「主」はこの世界宇宙の中の最高の称号だったので。彼らは聖霊に満たされて、命をかけて告白しました。

戦時中の1942年6月26日の未明、ホーリネス系の牧師は一斉検挙されました。その総数134名にのぼります。係官の審問は判で押したように「天皇陛下とキリストはどちらが偉いのか。」でした。地上の王と永遠の主である方と比べようがなく殆どの牧師はこれに答えられず係官を怒らせたそうです。実は私の父も三年三ヶ月の獄中生活の後、終戦の年の9月に釈放されて帰ってきました。見ると、顔、首に包帯を巻き、その首には穴があり、母がガーゼを突っ込んで治療していました。一緒に銭湯に行くと体中紫色のあざだらけでギョッとしました。信徒の方が私のそばに寄り「お父さんは悪いことをして牢屋に居られたのではない。命がけて伝道されたのだよ」と教えられ、まだ小学3年生で何も知らなかった私は深く感動し伝道者になる決心をしました。その後、成長と共に牧師になることに恐れを感じましたが、使徒1:8のみ言に教えられ聖霊を求めて祈り続けるうちにヘブライ13:5～6のみ言により、心は平安に満たされて、立ち上がることができました。

(前京都復興教会牧師)

霊 想



フィリピ一の27〜30

日本基督教団

東調布教会牧師

島 隆三

福音の信仰のために（フィリピ1:27-30）「あなたがたは一つの霊によってしっかりと立ち、心を合わせて福音の信仰のために共に戦っており、…」(27) 福音の信仰のために戦うということと共に霊想したい。

第1に、「一つの霊によってしっかりと立つ」ということ。それは言うまでもなく、教会の創立者である聖霊によって立つということだが、教会には悪しき霊も働くことに注意を要する。サタンは教会をダメにする一番の方法をよく知っている。それは悪霊を送り込むことだ。中田重治もリバイバルを求めよと叫びながら「悪魔のリバイバルに注意せよとも警告している。ホーリネス教会もそうだが、聖霊派といわれる教会が注意すべきはそのことだ。ホーリネス教会で言えば、昭和のリバイバルの

最中の昭和8年にサタンが働いて教会は真二つに分裂した（再臨信仰の脱線）。もしあの分裂がなければ、ホーリネス教会は破竹の勢いで成長発展を続けていたに相違ない。そうはさせないというサタンの落とし穴にはまった。教会にとつて分裂ほどこわいものはない。だからパウロは「聖霊による一致を守れ」と教えている。

ウエスレーもサタンが教会を混乱させることに何度も悩まされたが、ウエスレーの警告は、何が聖霊の導きかそうでないかをしっかりと見極めねばならないということである。その判断の基準は聖書であると言った。「聖霊はガイドであるが、聖書はルールである」というウエスレー言葉に注目すべきである。

私たちの心は、聖霊によって燃やされなければならぬが、頭はクールでなければならぬ。聖霊派と言われる教会・教派は、分裂が多いことに注意を要する。

第2は、「心を合わせて福音の信仰のために共に戦う」ということ。

パウロは「福音の信仰」と言った。その言葉が特に心に残る。福音は、言うまでもなくキリストの十字架の福音だ。それをパウロは大きな誇りをもって語ったに相違ない。これ以上に価値あるものは他にないという確信。ある先輩がよく言っ

いたが、どうせ苦勞するなら真に価値あるもののために苦勞せよということ。どうして若い人たちが、この価値あることのために献身しようとならないのか。この頃は、献身者も高年齢者が多い。それも尊いことだが、もつと若い人々に献身してもらいたい。諸教会から献身者が起こされるようにお祈り願いたい。

最後に、29節「あなたがたには、キリストを信じることだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられている。」

「恵みとして与えられている」という言葉に驚かされる。どうして、苦しむことが恵みなのか。それは苦しむことは、それだけキリストに近づくことだからだ。水野源三さんが「もしも私が苦しまなかったら」という詩を書いて、聖歌にも歌われている。(新聖歌292)

1、もしも私が苦しまなかったら神様の愛を知らなかった

2、多くの人が苦しまなかったら神様の愛は 伝えられなかった

3、もしも 主イエスが苦しまなかったら神様の愛は 現れなかった

苦しむことは、それだけキリストに近づくことだと申し上げたが、同時に思想が深められることでもある。パウロが苦しまなかったら、新約にあるパウロの手紙は書けなかったろうし、こんなに深い思想はと

うてい生まれなかった。パウロの手紙は、もちろん使徒として選ばれた器に神から与えられた啓示ではあるが、パウロ自身も幾多の苦しみを経て、深い思想と霊性の人に変えられた。キリスト教神学の土台はパウロによって築かれたと言っても過言ではない。

使徒は使徒として、信徒は信徒として、苦しみの炉を通して、神の人へと変えられていく。だから「キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられている」と使徒は言うのだ。

日本アシラム連盟60周年記念 全国アシラム（第53回）関東 アシラム）報告

安藤 脩

日本アシラム連盟創立60周年を記念して、全国アシラムが9月21日（月）〜23日（水）に御殿場の東山荘で開催された。このような全国規模のアシラムは、1960年9月23日〜25日にタイタス師を迎えて、日本クリスチャン・アシラム国際大会として、箱根アカデミーハウスで開催されて以来である。

今回は2013年の連盟理事会で、2015年が日本クリスチャン・アシラム



ラム連盟創立60周年の記念すべき年なので、記念誌発刊とスタンレー・ジョーンズ師の孫娘・アン・マシューズ女史をお招きして、全国大会を開催すると決議しスタートした。関東アシラム委員会では、第53回アシラムをこれに合流することとし、実務を担当することとなった。当初の予定では、23日に連盟理

事会を行い、24日〜26日までの予定であったが、予算や会場の関係で、変更となった。もっと大きな変更は、箱根の大涌谷の噴火活動が激しくなり、会場の山崎製パン箱根山荘が使用できなくなり、急遽、東山荘としたことである。

これらの変更が重なったために、九州アシラム、関西アシラムとも日程が重なってしまった。全国からの参加を願っていたが、申し訳ないこととなった。実務を担当する者たちとしては参加人数の下方修正を余儀なくされた。又この日程は10数年に1度という秋のシルバークイークである。全日休日、勤めを持っている人も出易いのではないかと思つたが、それよりも、行き帰りが大渋滞というアクシデントの影響を受けることとなった。そのため、大会前後に開催の理事会を時間調整しても、アシラムの開始を1時間遅らし、福音の時Ⅲを短縮しなければならなかった。

それにもかかわらず、アシラム自体は大いに恵まれたものとなった。開会礼拝では清水潔師が「イエスは主である」と告白するのが困難な戦時、お父様の入獄は伝道のためと知り、感激し、献身を決意したことを語られた。開心の時も、岡山敦彦師のヤコブ書5章16節からの「罪を告白し合い、互いのために祈

りなさい」に促されて、次々と二ノドを出し合つた。福音の時も、アシラムセンター（通称・近江アシラム）の榎本恵師は詩編133の「兄弟が共に座している」これがアシラムであり、これを阻むものは何か私たちの外側ではなく、内なる垣根であると挑戦された。アン・マシューズ女史は、映像を用いつつ、祖父スタンレー・ジョーンズ師の人となり、クリスチャン・アシラムの創設の心と活動、そして日本との関わりについて語られた。参加者が57名と最終目標より増加したので、祈りの細胞も予定より1分増やし、8分団とし、深い交わりができた。勿論のこと、これらは讃美と証しの時、最後の充満の時を、恵みの豊かに溢れ出る時としてくれました。

第40回西川口教会アシラム

日本基督教団西川口教会



皆川 時男

第40回 西川口教会アシラムは、2015年7月25日(土)午後1時から4時30分まで、一日アシラムとして開催されました。

第1回のアシラムは1970年2月に、初代牧師の横山義孝先生と横山静子先生のご指導のもと始められ、続いて、三枝道也先生と三枝育代先生、島隆三先生と島静江先生、そして、金田佐久子先生と、4代続く牧師先生方の情熱と力強いご指導を賜り、連綿と続いてきました。

第40回という記念すべき今回の西川口教会アシラムには、岐阜県近江八幡市にあるアシラムセンター主幹牧師・榎本恵先生をお迎えし、ご指導をいただきました。主題聖句は「空の鳥をよく見なさい」(マタイによる福音書6章26節)。アシラムの参加者は27人で、他教会・求道者の参加もありました。一日アシラムは、身体の弱さを持つ私などは、本当に祝されたものでした。

アシラムの最高の恵みは、祈り合うファミリィが与えられたことです。霊の交わりを通して、自分の願いを発表して、祈っていただけなのです。使徒パウロも「わたしのために祈ってください」(エフェソ6・19)とお願ひしています。「だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします」(ヤコブ5・16)。「静聴の時」では、マタイによる福音書第6章を静聴しました。

「だから、言っておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと・・・思い悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか」(25節)。そうです。胃ガンによって全摘手術を受けた私、その上心臓も冠動脈拡張処置を受け、生きながらえさせてくださるイエス様の御言葉をそのまま受け入れます。

「充滿の時」では、「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」(マタイ6・33)とは、神によって義とされるということを一番大切にしているか、それとも地上の宝のほうかやはり大事と思っているのか、イエス様はこのところではつきりと示されたということ。神の国は神の支配。神は私たちを赦すことによつてご自身の義を現されました。終わりの時、神の前に立つときまで、神の赦しを携えて進んでいくこと。以上説き明かしをいただきました。

アシュラムを通して、示された罪を悔い改めて、一歩進む力を与えられました。心より感謝いたします。

『第三十回浦和別所教会

アシュラム』

「みことばに聴く」 報告

吉原 將文



去る七月十一日(土)午後七時より十二日(日)の十六時過ぎまで教会アシュラムが持たれた。

今年度は三十回めに当たること、又、当教会の懸案事項であった老朽化した教会の建て替えが、現教会堂の近くに教会境内地を与えられて、いよいよ教会堂の建設に向けて歩きだす年であることから、外部講師を迎えて開き三十周年の記念アシュラムとすることが企画された。

東京聖書学校校長の島隆三牧師(東調布教会牧師)にアシュラムの導き手を御願ひしたところ受けていただいたとの返事を頂き、アシュラムの内容について「フィリピの信徒への手紙」(以下フィリピとする。)

を中心に進めるので事前に繰り返し読んでおく事との案内もありました。以下流れにそって。

【二日目】

○開会礼拝…(十九時から二十時)

(参加者十四名)

フィリピ一章を中心に『福音の信仰のために』と題してメッセージを頂いた。

☆「開心の時…(二十時から二十一時)二班に分かれ、お互いのニード(アシュラム参加の目的)を語り合い、祈りあった。

○散会。自宅に帰る。

○連鎖祈祷…(二十二時から翌朝の六時)、聖書(フィリピ一、二章)

精読と祈りの時(連鎖祈祷)をもった。

【二日目】

☆めぐみの分かち合い…(九時半から十時半)新しく三名の方も加わり、三班で。めぐみの分かち合いと祈り合い。

◎「主日礼拝」(十時三十分から十二時)島牧師より「キリスト者の完全」の題でメッセージを頂いた。

「フィリピ三章十二節」わたしは、それを既に得たというわけではなく、すでに完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕えようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕えられているからです。

○(昼食会)親睦の時

☆「静聴の時」(十三時から十四時)一人一人が聖書(フィリピ三・四章に聴く。

☆めぐみの分かち合い…(十三時から十四時)「聴いたみ言葉の分かち合と互いに祈り合う。一年間のファミリーの友を覚えて祈りカードの作製。

☆充滿の時…(十五時から十六時半)

島牧師より有意義な助言とまとめをして頂いた。沢山の課題を抱えている浦和別所教会に、暖かい、励ましの言葉を頂き、感謝一杯でした。

第21回連盟全国理事会略報

この度の連盟全国アシュラムプログラムの前後、以下の様に第21回全国理事会が開催されました。

とき ①9月21日(月)14時30分～15時30分

②9月23日(水)午後13時～14時20分迄

会場 東山荘(御殿場) 6号館 12会議室

参加者 理事9名、陪席2名計11名
議題、協議事項、新理事組織等については次号に詳細報告します。

〒一八一〇〇一一 三鷹市井口3-15-6
池の上キリスト教会内
日本クリスチャン・アシュラム連盟
振替口座 東京〇〇一〇〇一-四五五八